

会社説明会

2015年12月8日



OATアグリオ株式会社

証券コード : 4979

1

会社概要

2

世界の農業事情

3

OATのアグリテクノロジー

4

決算概要

1

会社概要

会社概要

会社名

O A T アグリオ株式会社

事業内容

農薬・肥料の研究開発、製造及び販売

本社所在地

東京都千代田区神田小川町一丁目3番1号

設立／決算月

2010年9月28日 / 12月決算

資本金

4億6,190万円

従業員数

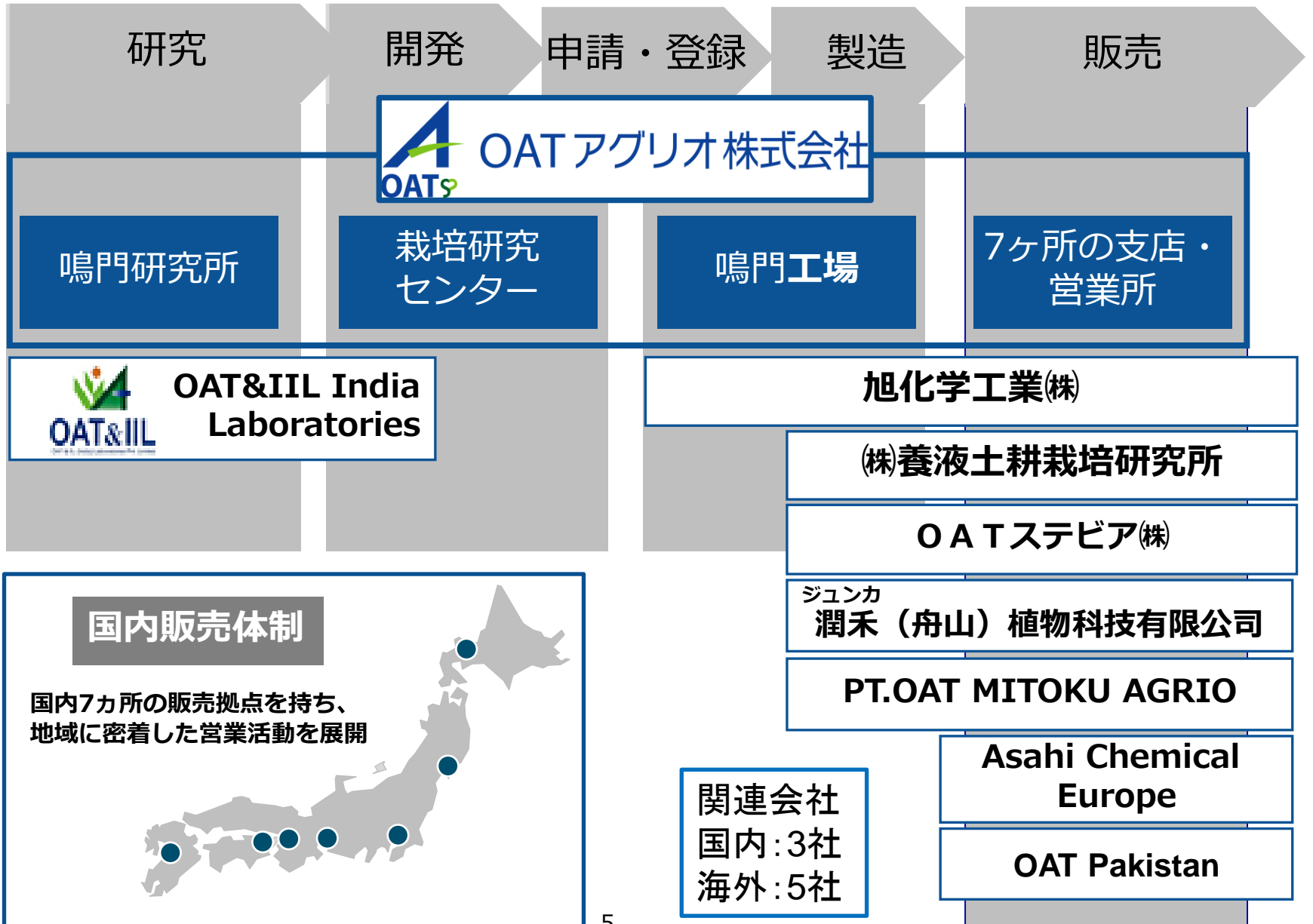
274名（連結/平成27年4月末現在）

◆沿革

沿革

- 1950年 大塚製薬工場より有機化学部門を分離し、大塚化学株式会社設立
- 2010年 大塚化学のアグリテクノ事業部がMBOにより、大塚アグリテクノ株式会社を設立
- 2011年 アトニックを主力製品とする旭化学工業株式会社を買収
バイエル社から水稻除草剤原体2剤買収
- 2013年 殺菌剤「ガッテン乳剤」発売
インドに現地農薬会社IIL社と合併研究所を設立
パキスタンに販売会社を設立
- 2014年 OATアグリオ株式会社に社名変更
東京証券取引所市場第二部に上場
OATステビア株式会社を設立
- 2015年 中国における合併会社設立に関する合併契約を締結
インドネシアにおける合併会社設立に関する合併契約を締結

◆当社グループ



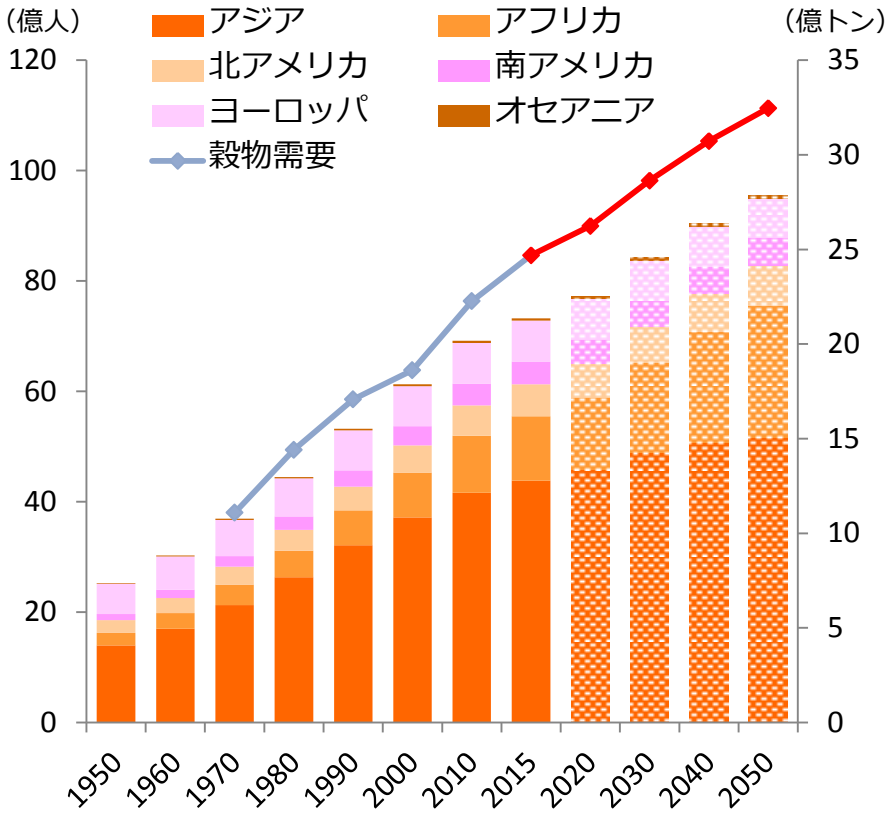
2

世界の農業事情

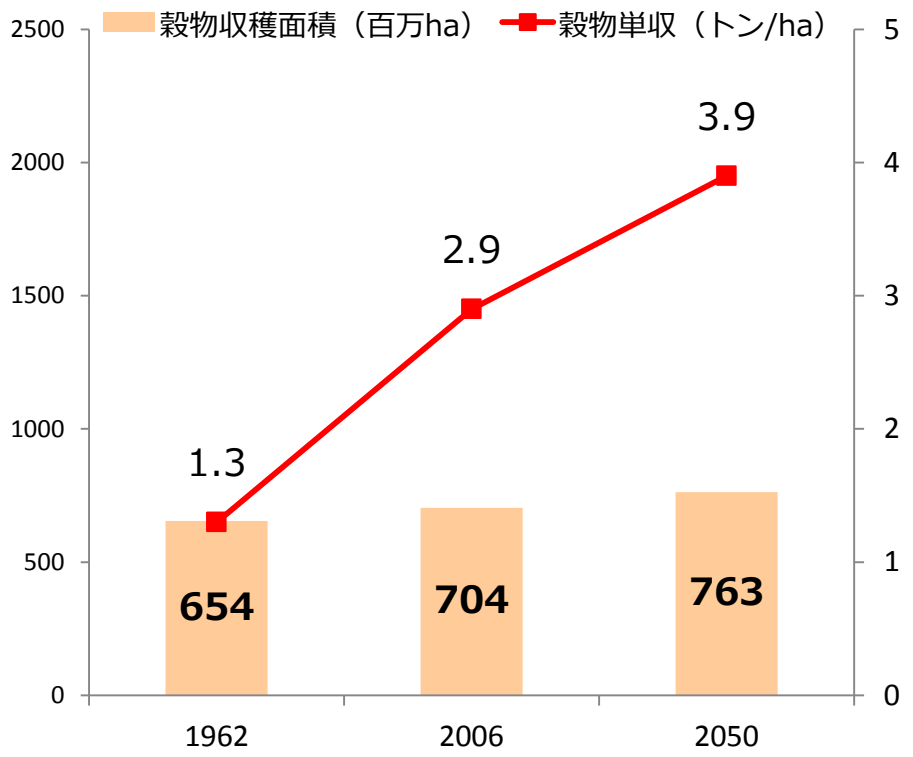
◆世界の人口増加と穀物需要

- ▶ 世界の人口：1950年（25億人）⇒2015年（73億人）⇒2050年（95億人）
- ▶ 国連食糧農業機関（FAO）の発表(09.9)
2050年までに世界全体の食料生産を70%増加が必要と試算
地球環境から耕地面積の拡大は困難・・・

世界の人口と穀物需要の推移



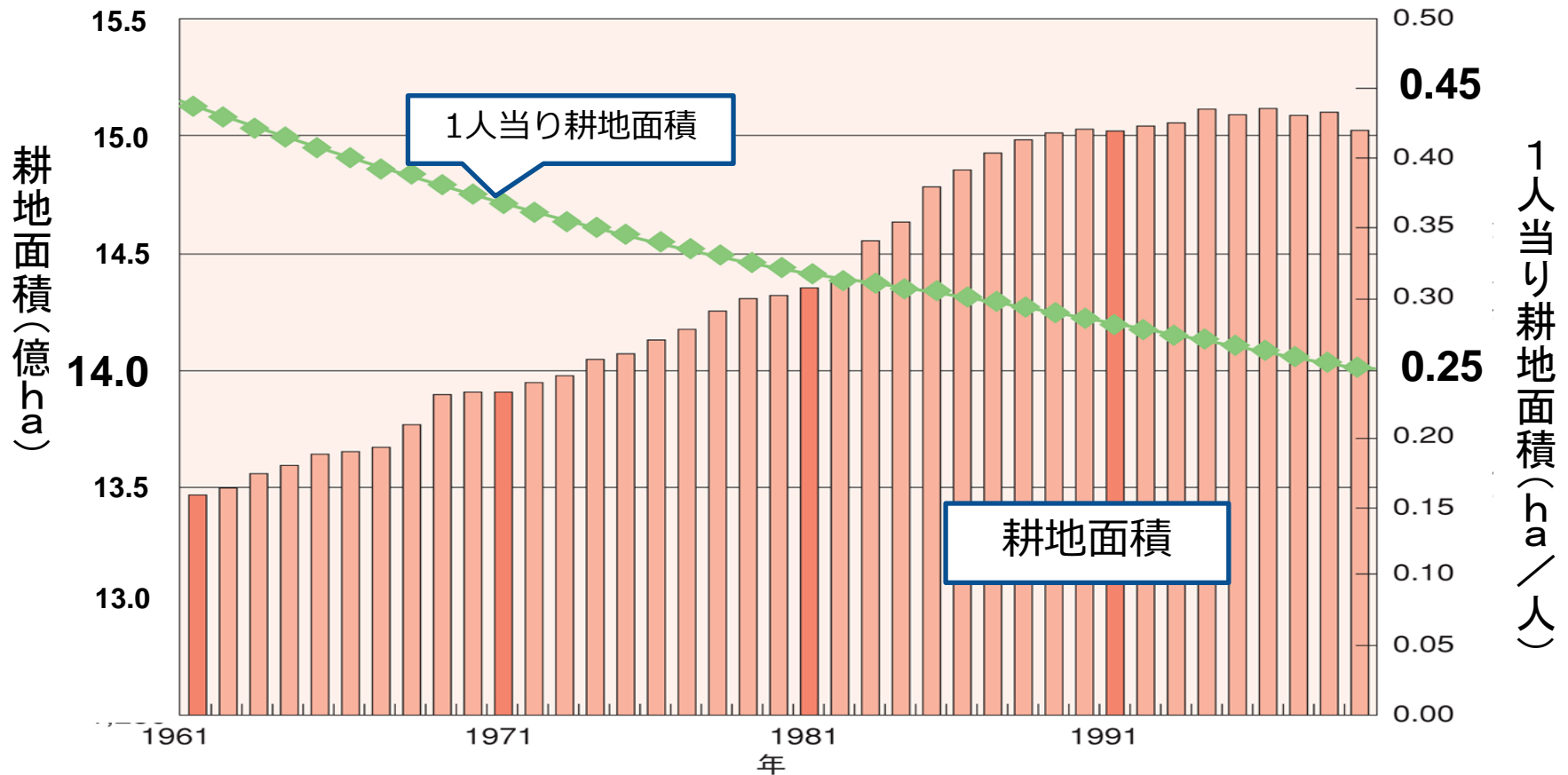
穀物収穫面積と単位面積当たり収穫量



◆世界の1人当り耕地面積推移

- ▶ 世界の耕地面積(2012年：約14億ha)
人口1人あたりの収穫面積は、この40年間で半減
(1961年：0.45ha ⇒ 1999年：0.25ha)

世界の耕地面積と1人当り耕地面積推移



◆人口増加に伴う諸問題の発生

食糧増産が必須

エネルギーの
大量消費

自然破壊

農薬使用による
薬剤耐性の発生

地球温暖化
局所的な気候変動

砂漠化・塩害・水質汚染
世界の土壌の3割が劣化

新規開発を行っている
農薬メーカーは約千社
の中で日欧米の20数社

作物へのストレス
増大

国連が2015年を
国際土壌年とする

新規薬剤開発
防除技術

免疫力の向上
バイステイムラト

必要際少限の水と肥料
施肥灌水技術

◆企業理念と3つのアグリテクノロジー

防除技術

2拠点の研究体制
(鳴門・インド)
高安全性・新規有効成分探索

施肥灌水技術

栽培技術
水耕栽培肥料
国内シェアNo.1

バイオスティミュラント

環境・病害虫に対し作物の
免疫力を高める
生物多様性の尊重



『企業理念』

食糧増産技術(アグリテクノロジー)と真心で
世界の人々に貢献します

3

当社グループのアグリテクノロジー

- ◆ 防除技術
- ◆ 施肥灌水技術
- ◆ バイオスティミュラント

◆研究開発体制（国内：52名、海外：51名）

栽培研究センター



鳴門研究所



◆ 研究開発体制（国内：52名、海外：51名）



- OAT & IIL (India) Laboratories Private Limitedが昨年10月より稼動
- 国内研究開発部門と連携し、早期の新規農薬原体開発を加速する



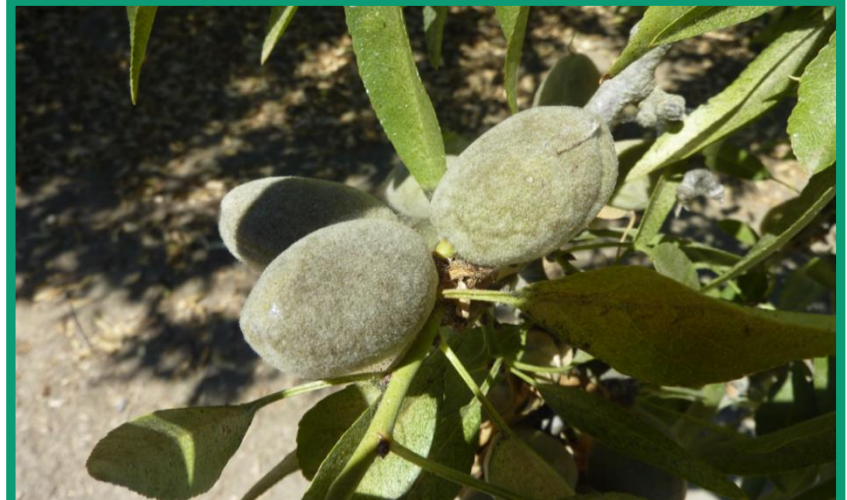
◆防除技術（ダニサラバ）



シトラスのダニによる被害（ブラジル）



アーモンドのダニによる被害（USA）



ダニサラバの特徴：害虫に卓効を示すが、天敵には影響がない

◆防除技術（ダニサラバ）

ブドウのダニによる被害（USA）

ダニサラバ散布40日後の比較対象



散布量 (200 g ai/ha)

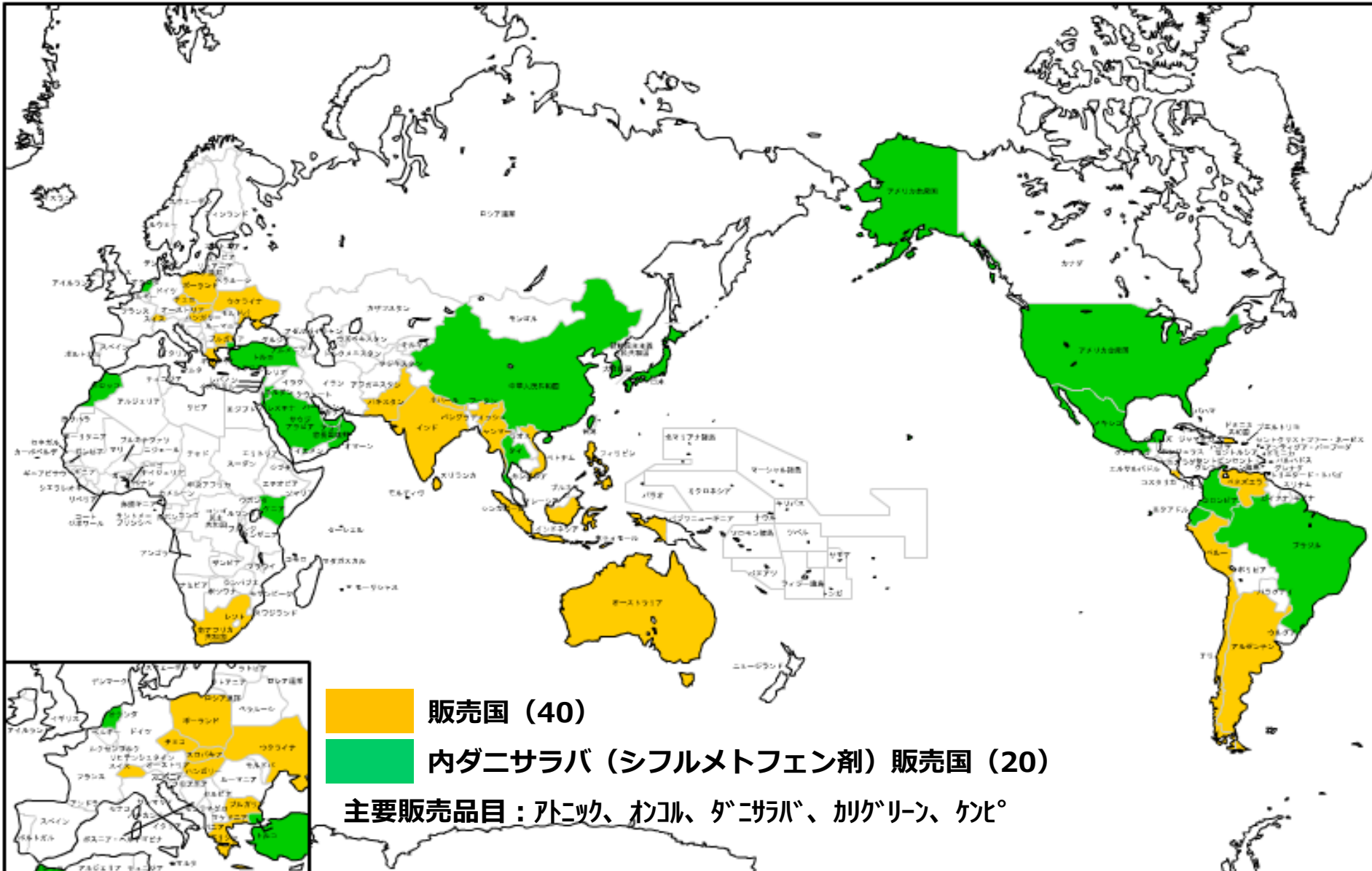


未使用

Variety = Thompson Seedless; Precounts done 2 DBT and spray applications made Jun 7, 2013.;

All treatments @ 100 GPA via Solo back pack mist sprayer.

◆海外販売状況とダニサラバの展開

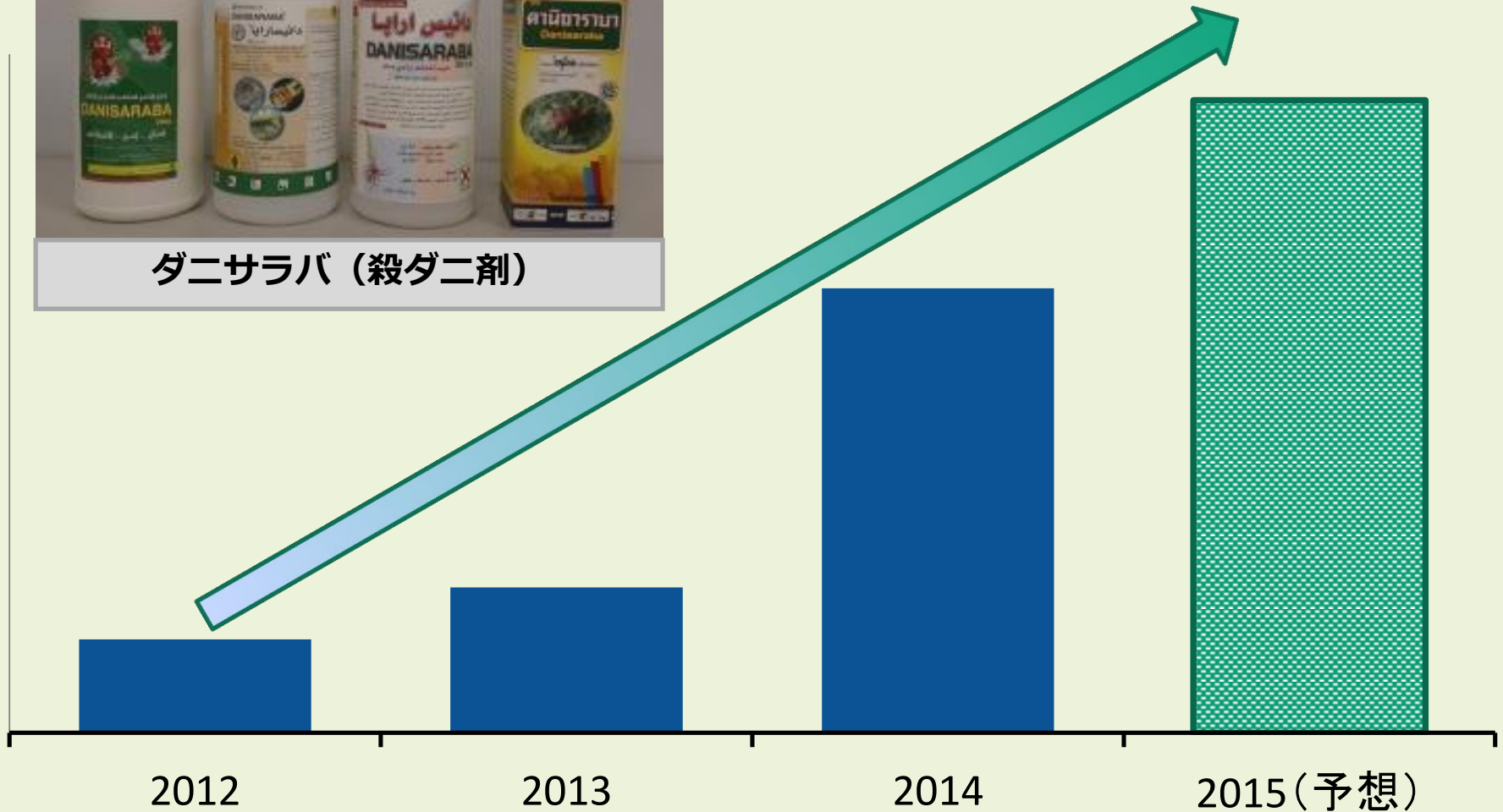


◆ダニサラバの海外販売実績推移

登録国の拡大により売上伸長
2012年⇒2015年（7倍）



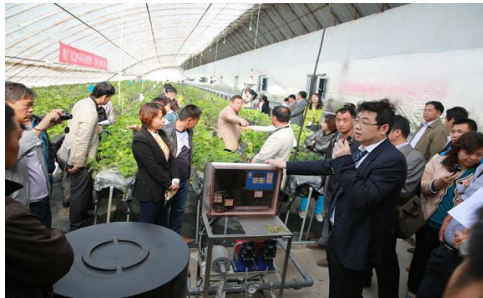
ダニサラバ（殺ダニ剤）



◆施肥灌水技術（中国展開例）

環境に優しい栽培技術「省資源（水・肥料）、省力化」

モデルハウス
展示説明



栽培講習会

モデルハウスの拠点増加

- ◆OAT肥料
- ◆OAT施肥灌水システム
- ◆栽培技術指導



新規生産者の獲得・拡大

高収益
農産物

安全・安心・高品質栽培技術の普及

- 世界の農耕地の3分の1が劣化傾向にあると言われている。
（国連は2015年を国際土壌年に定める）
- 中国農耕地の劣化および土壌汚染が深刻で危機感がある。

◆ 合併工場建設予定地



◆ 浙江陽田農業開発有限公司によるモデルハウス展示会の様子



◆施肥灌水システムで栽培された高級イチゴの販売



◆ バイオスティミュラントとは

直訳すれば生物的刺激、つまり植物の免疫機構に働きかけ、免疫力を高めることで、耐寒性、耐暑性、病害虫耐性及び成長促進を促す「生理活性物質」の総称

ATONIKに関しては、農薬取締法に属するが殺虫及び殺菌効果はない



生物多様性を尊重する

- 植物の生物ストレス（病原菌感染）
- 環境ストレス（乾燥・塩害等）
- 全身獲得抵抗性
「SAR (systemic acquired resistance)」

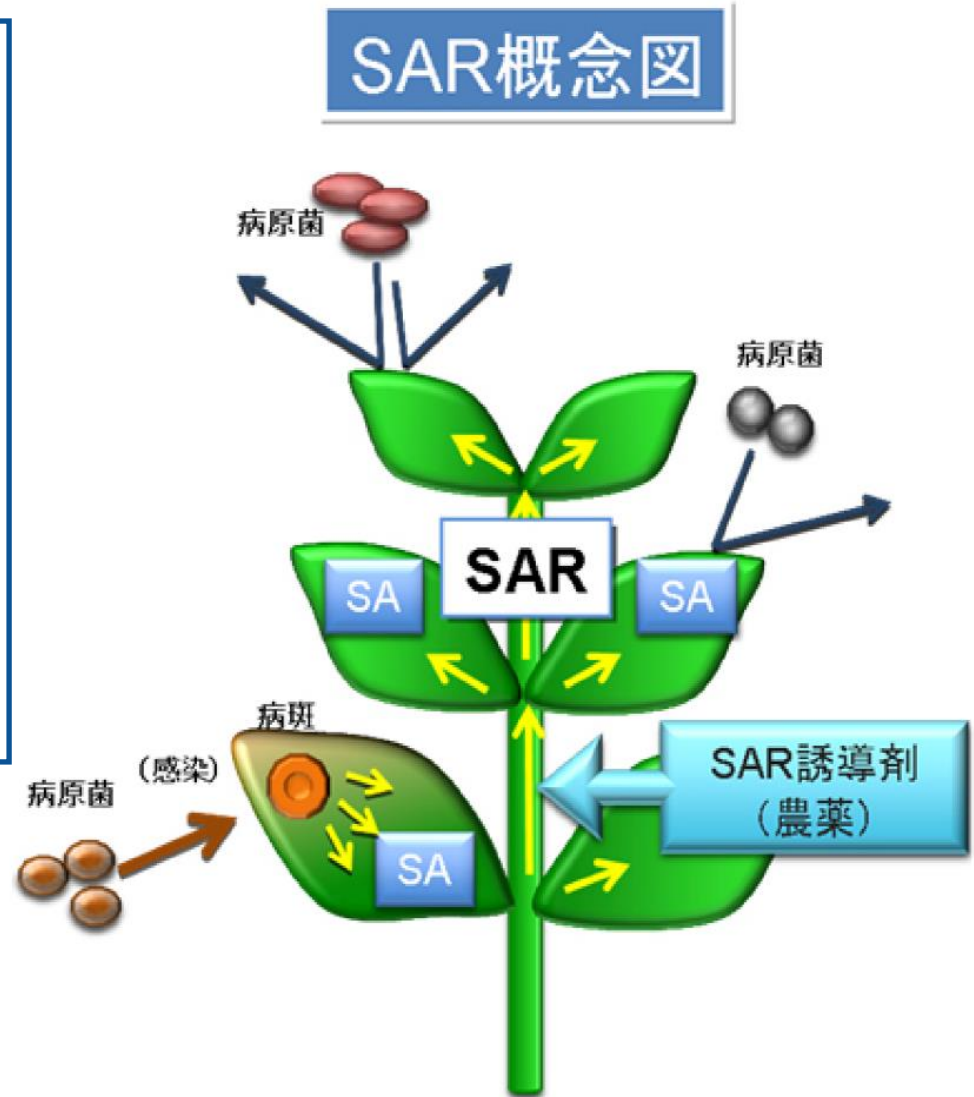
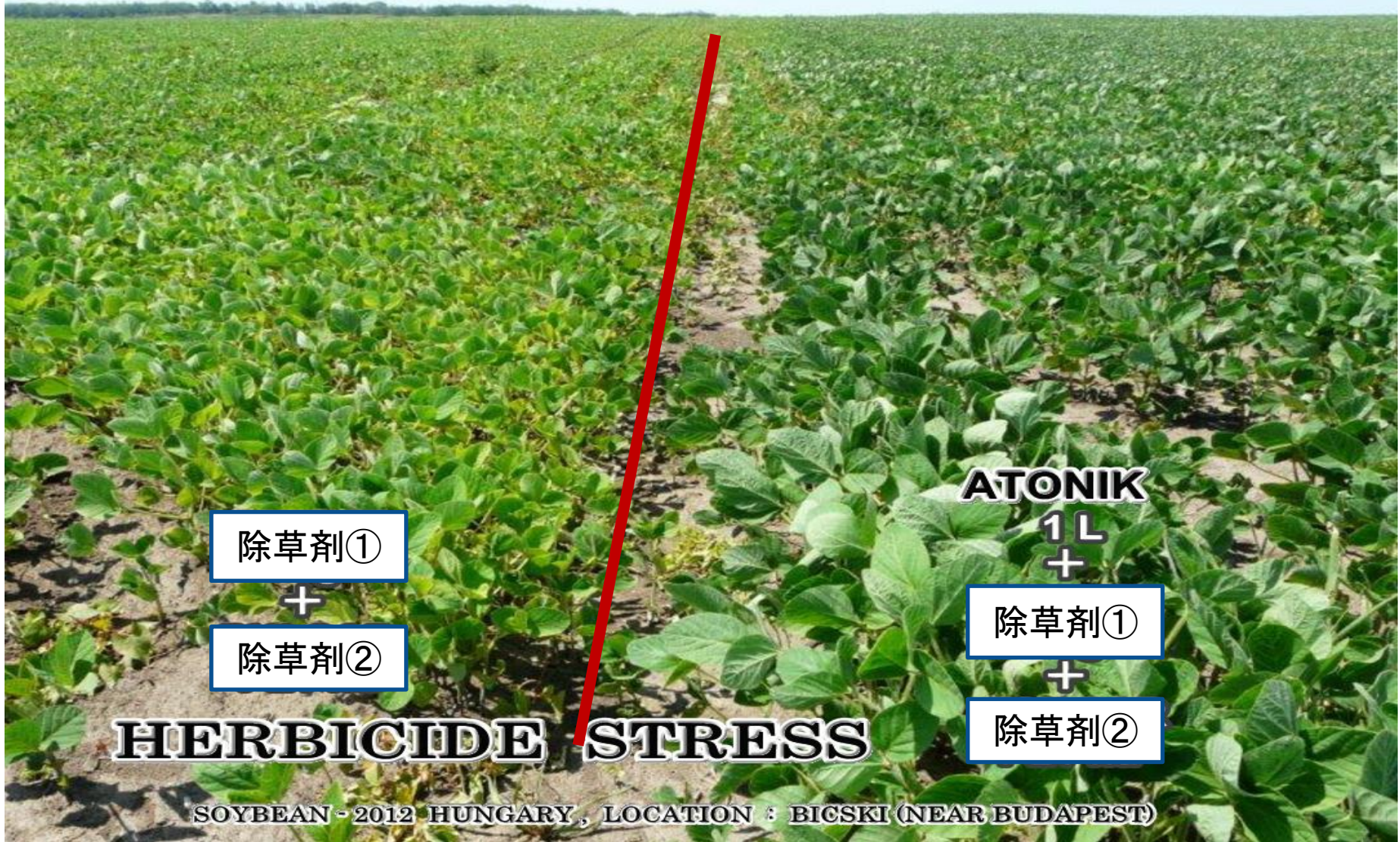


図1 全身獲得抵抗性（SAR）の概念図

◆ バイオスティミュラント (ATONIK)

ATONIK散布によるダイズの発育比較 (除草剤による影響の軽減) (ハンガリー)



◆ バイオスティミュラント (ATONIK)

ATONIK散布により雹 (ひょう) 害を受けたダイズが回復 (スロバキア)

雹 (ひょう) 害を受けた直後のダイズ



ATONIK散布後のダイズ



◆ バイオスティミュラント (ATONIK)

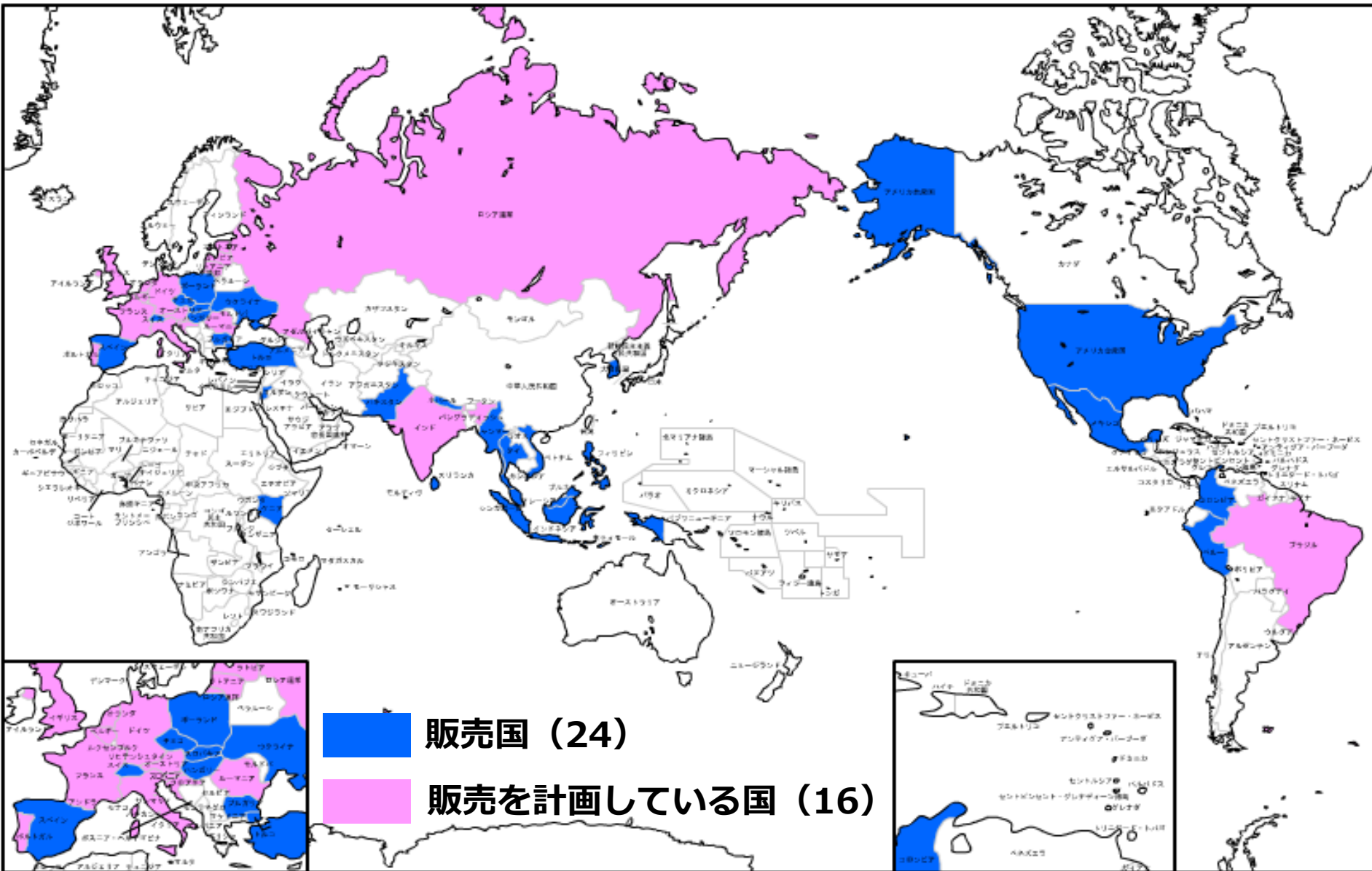
ATONIK散布によるヒマワリの種の生育状況

ATONIK未使用
日照不足によってヒマワリの種の育成
不良が発生

ATONIK使用
ATONIKを散布することにより日照不足
でもヒマワリの種の生育が良好



◆バイオスティミュラント (ATONIK販売状況)

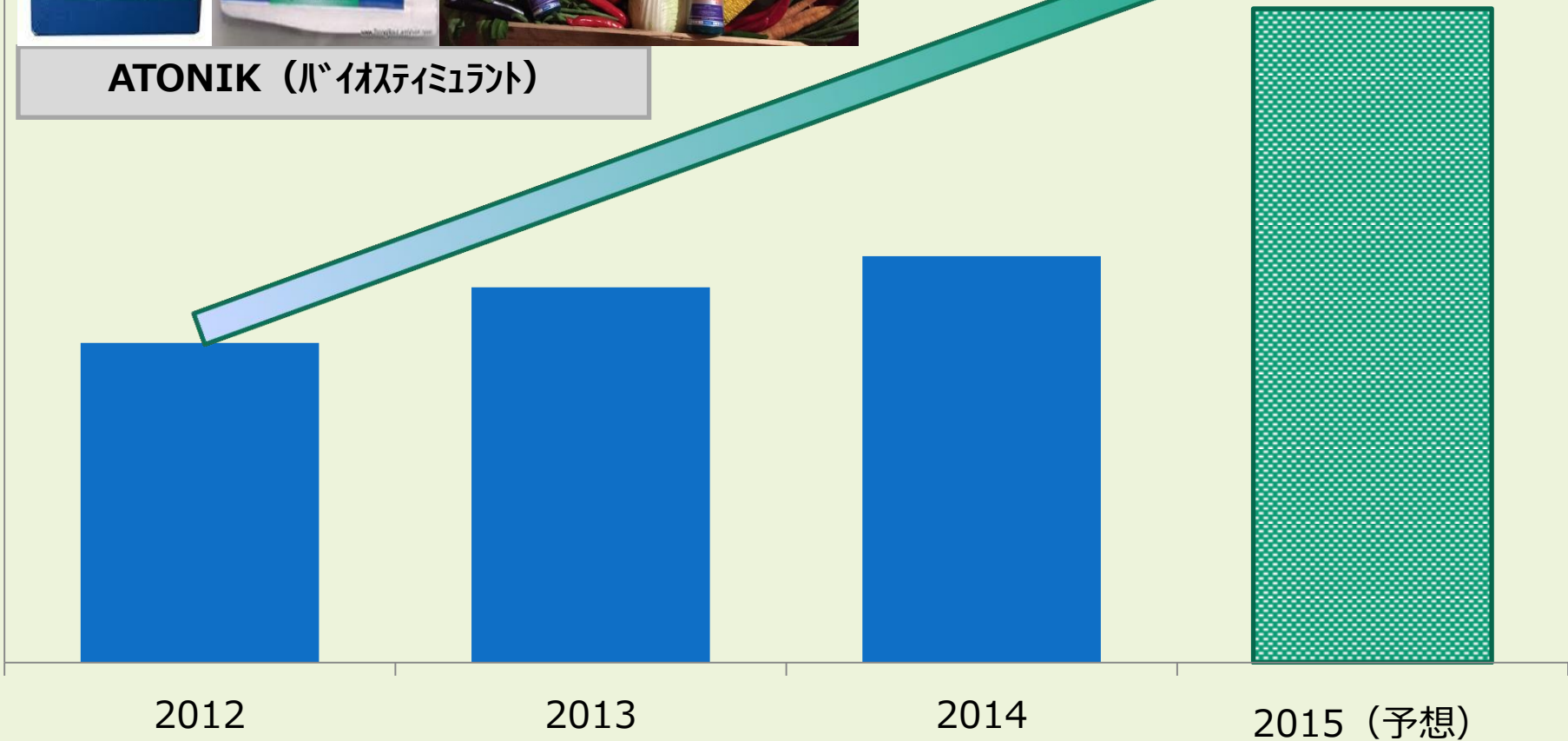


◆ATONIKの販売実績推移



ATONIK (バイオスティミュラント)

登録国の拡大により売上伸長
2012年⇒2015年 (2倍)



4

決算概要

◆平成27年12月期通期連結業績予想

平成27年12月期通期連結業績予想値の修正（平成27年11月10日付け）

- 海外向け農薬販売の伸長
- 為替の円安基調

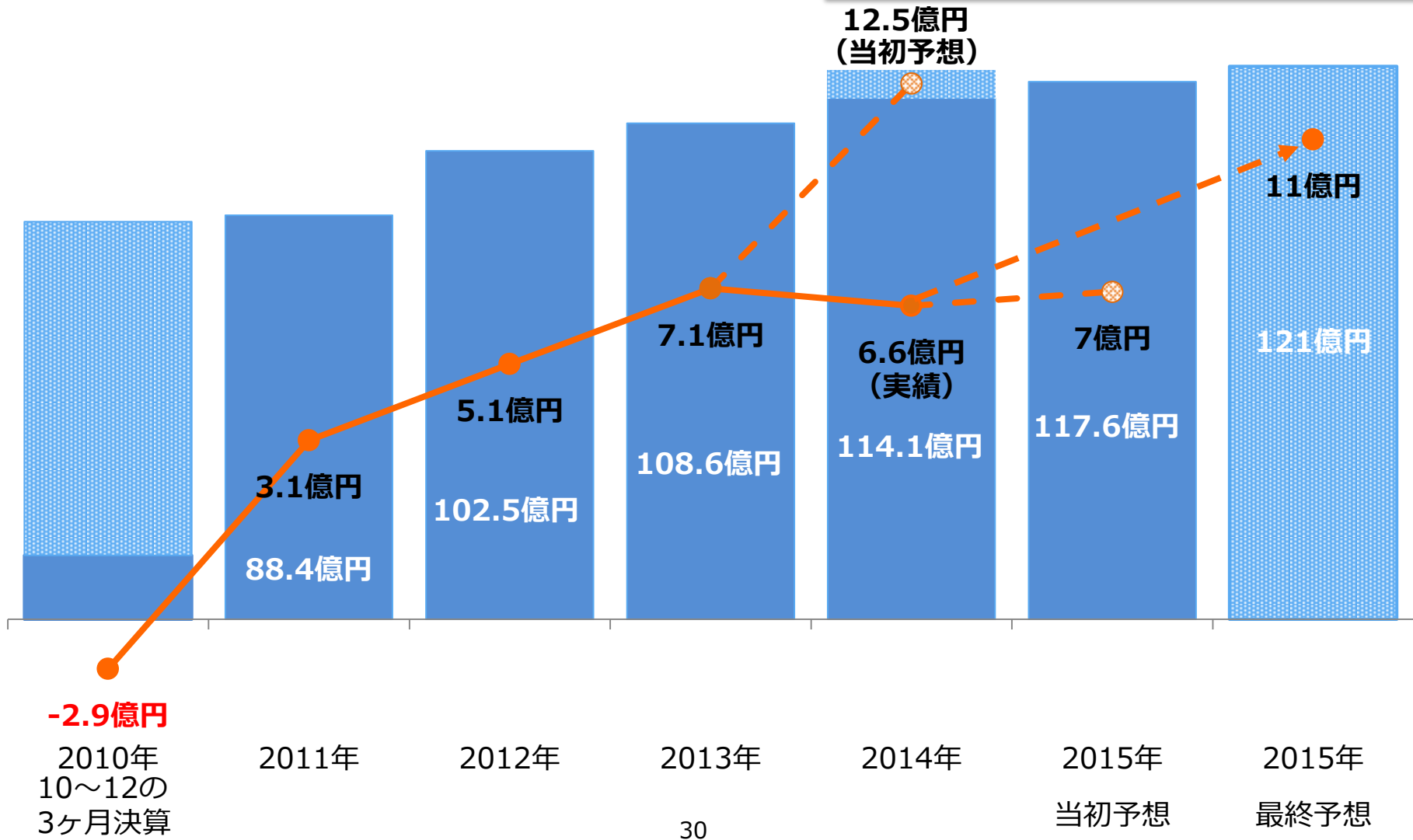
金額：百万円

科目	平成26年12月期 通期連結業績	平成27年12月期通期連結業績		増減率	
		前回発表	修正予想	前年比	前回発表比
売上高	11,405	11,762	12,100	6.1%	2.9%
営業利益	663	900	1,100	65.9%	22.2%
経常利益	652	900	1,100	68.7%	22.2%
当期純利益	348	500	620	78.2%	24.0%

◆売上高・営業利益(推移予想)

売上高
 営業利益

当初（2014年10月時点）2016年を目処に業績回復を目指していたが2015年で売上は回復



◆本資料の取扱いについて

- 本書には、当社及び当社グループに関する見通し、将来に関する計画などが記載されております。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

ご清聴ありがとうございました